

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
37101	レクリエーション論 Recreation theory	山口 榮三	専門	2	選択	1・2年前期

科目の概要

少子高齢社会の日本社会においてレクリエーション・インストラクター(以下「レク・インストラクター」)はレクリエーションの「市民サービス事業」を推進する人材として期待されている。21世紀の社会とレクリエーション運動の役割、レクリエーション支援とその展開方法を基礎理論の中心におきながら、インストラクターとして必要なコミュニケーション技能について考察し講義及び支援実習を行う。また、レク・インストラクターを目指す人に最新情報も併せて提供する。

学修内容	到達目標
① レクリエーション(以下「レク」)の考え方を学ぶ。 ② レクの歩みを学ぶ。 ③ レクの展開状況を学ぶ。 ④ レクの企画方法を身につける。 ⑤ レクの援助方法を身につける。	① レクの考え方を簡潔に発表・説明ができる。 ② レクの歩みを簡潔に発表・説明ができる。 ③ レクの展開状況を簡潔に発表・説明ができる。 ④ レクの企画ができる。 ⑤ レクの支援ができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	次回の授業内容について、テキストの該当箇所や関連する内容を確認し、予習をした。
	働きかけ力	グループワークなどのチームで話し合っって課題を解決する時、意見がでるように積極的に働きかける。
	実行力	授業において、成績、知識・技術の習得に向け、どのように取り組むかの目標を持っている。
考え抜く力	課題発見力	科目に対して、どのような姿勢で取り組んだらよいかを考え行動する。
	計画力	授業の成果を上げるため、自分の学修計画を立てることができる。
	創造力	「私ならこう考える」「このようにした方が良い」と、発想する習慣をつける。
チームで働く力	発信力	相手が自分の話しを正しく理解しているかどうか、相手の反応を見、状況に合わせて話せる。
	傾聴力	話を聞く時は、うなずきやあいづちをしながら聞く。
	柔軟性	立場によって、意見や考え方が違うということを理解し対応できる。
	状況把握力	自分以外にも質問や意見のある人がいることに配慮した。
	規律性	指示やルールが曖昧になった時は、自分の解釈で進めず必ず確認する。
	ストレスコントロール力	ストレスを自己の成長のチャンスだと捉えることができる。

テキスト及び参考文献

テキストは、日本レクリエーション協会編著『楽しさをおとした心の元気づくり』2017年。
～レクリエーション支援の理論と方法～ (日本レクリエーション協会発行 本体1,800円)を使用する。
参考文献:必要に応じて適宜紹介する。

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連:レクリエーション実技の授業を履修すること。
資格との関連:レクリエーション・インストラクター 保育士 幼稚園教諭

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめておくこと。 予習ではテキストをよく読んで内容を整理してほしい。 欠席はしないこと。 授業を欠席したら、欠席分の課題をレポートにまとめ提出すること(必須)。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中の私語は慎み、積極的に授業に参加すること。 配布プリントや資料は講義ノートに合わせてまとめておくこと。 レク財を知るために、インターネットやメディア情報など、積極的に情報収集する意欲を持ってほしい。

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で学習した内容が理解されている。 ・問題を的確・適切に捉えられているか。 ・重要な点を把握しているか。 ・自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。 ・誤字・脱字はないか。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
小テスト	10	①	✓	・毎回の小テストの点数を平均して判定する。(各テスト10点満点) ① 授業で学習した内容の理解度を確認する。 ② 穴埋め問題と、択一形式問題を中心に出題する。 ・出題範囲は、各時点までの授業で学習した内容とする。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
レポート	10	①	✓	授業で学習した内容が理解されている。 ・問題を的確・適切に捉えられているか。 ・重要な点を把握しているか。 ・自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。 ・誤字・脱字はないか。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)	10	①	✓	・プレゼンテーションの論理性・明瞭さを評価する。
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
作品		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		(主体性): 能動的な受講態度を評価する。(ポイントを的確に把握理解した支援実技等) (実行力): 失敗を怖れず、やってみようとする果敢さを持って、取り組むことができる。 (課題発見能力): 現状を正しく認識するための情報収集や分析ができる。 (創造力): 従来の常識や発想を転換し、新しいものや解決策を作り出すことができる。 (発信力): 支援実技の内容・意味を自分なりに十分に理解して支援している。 発表の仕方を工夫してわかりやすく発表できる。 (傾聴力): 相手の話を素直に聞くことができる。 (規律性): 受講態度(遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題やその他の提出物の未提出、グループ活動への非協力など)が見られる場合は減点する。
		②		
		③		
		④		
		⑤		
その他	10	①		・欠席は1回につき1ポイントの減点判定となる。 ・欠席レポートの提出(1回提出1ポイント)
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100			定期試験 50%、小テスト 10%、レポート 10%、成果発表 10%、学修態度・その他 20%

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
上記の【評価方法】の内 90%以上を満たす場合を A(優)とみなす目安とする。 ・授業で学習した内容の理解度が優れている。(55%) ・自身の見解を優れて論理的な文章で論じている。(5%) ・発表が優れて論理的である。(10%) ・優れて能動的な受講態度であること。(積極的で、ポイントを的確に理解した発言、発表等)(10%) ・発表、発言等に優れて創造性、独自性がみられる。(10%)	上記の【評価方法】の内 70%以上を満たす場合をB(良)とみなす目安とする。 ・授業で学習した内容の理解度が良い。(50%) ・自身の見解を論理的な文章で論じている。(5%) ・発表が論理的である。(5%) ・能動的な受講態度であること。(積極的で、ポイントを的確に把握理解した発言、発表等)(5%) ・発表、発言等に創造性、独自性がみられる。(5%)

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力 名
1週 /	レクとは何か、何を学習し、どのような技能を習得するのかを確認する。 レクの意味とレク運動の歴史を学ぶ。	講義	シラバスの理解ができてい る。	予習:シラバス理解。 テキスト P4～8を読む。 復習:講義のまとめ	180	規律性
2週 /	レク概論①:レク支援とは:レク支援の目標と 理念:レク支援が個人や地域社会にとって、どの ような価値や意義があるのかを 考察する。	講義と質疑応答	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。	予習:テキスト P9-14 を 理解し学修計画を立てる。復習:講義のまとめ。	180	計画性
3週 /	レク概論②:レク・インストラクターの2つ の役割/現代社会の課題や問題 に対してレク・イ ンストラクターの果たす役割を考 察する。	講義と質疑応答	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。	予習:テキスト P15-17 を 理解。復習:講義のま とめ	180	主体性
4週 /	楽しさと心の元気づくりの理論 (1):楽しさをとお した心の元気づくりの理解・小 テスト①	小テスト 講義と 質疑応答	小テストが 60%以上理解 できる。	予習:テキスト P20-25 を理解。復習:講義ま とめ。	180	主体性
5週 /	楽しさと心の元気づくりの理論 (2):活動を心の 元気づくりに活かす2つの視点	講義と 質疑応答	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。	予習:テキスト P26-29 を理解する。 復習:講義のまとめ	180	主体性
6週 /	楽しさと心の元気づくりの理論 (3):子どもや高 齢者の心の元気づくりの課題/ 障がいのある人の 心の健康づくりの課題 課題レ ポートを実施①	講義と 質疑応答	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。	予習:テキスト P30-32 を理解する。 復習:講義のまとめ。	180	主体性
7週 /	楽しさと心の元気づくりの理論 (4):心の元気と 地域のきずな/地域のきずなづく り/子どもを育 む地域のきずな/高齢者を支え る地域のきずな ・小テスト②	小テスト 講義	小テストが 60%以上理解 できる。	予習:テキストの該当 範囲 P33-36 を理解 する。 復習:講義のまとめ	180	発信力
8週 /	レク支援の理論:コミュニケーションと信頼関係づくりの理論(1): レク支援におけるコミュニケーション/対象者との信頼関係/信頼 関係づくりの方法	講義と 質疑応答	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。	予習:テキストの該当 範囲 P38-43 を理解 する。 復習:講義のまとめ	180	発信力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	レク支援の理論:良好な集団づくりの理論:集団づくりの理論/レク活動をとおした良好な集づくり/集団内のコミュニケーションの促進 小テスト③	小テスト 講義と質疑応答	小テストが 60%以上できる。	予習:テキストの該当範囲 P44-49 を理解する。 復習:講義のまとめ	180	発信力
10週 /	レク支援の理論: 自主的・主体的に楽しむ力を育む理論:自主的・主体的にレク活動を楽しむ力/やる気の変化とやる気が生じる心の仕組み/成功体験を支え合う対象者のかかわり	小テスト 講義	小テストが 60%以上できる。	予習:テキストの該当範囲 P50-55 を理解する。 復習:講義のまとめ	180	計画性
11週 /	レク支援の方法:信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ/あたたかくもてなす意識と配慮/あたたかくもてなしたいという気持ちを伝える配慮/気持ちをひとつにするコミュニケーション技術	講義と 質疑応答	内容を理解し重要なポイントが、わかりやすく発表・説明ができる。	予習:テキストの該当範囲 P58-65 を理解する。 復習:講義のまとめ	180	発信力
12週 /	レク支援の方法:良好な集団づくりの方法・アイスブレイキング/アイスブレイキングのプログラム/アイスブレイキングの効果を高める支援技術	演習形式の講義	発言をする等、積極的にかかわることができる。	予習:テキストの該当範囲 P66-69 を理解する。 復習:講義のまとめ	180	発信力
13週 /	レク支援の方法:自主的・主体的に楽しむ力を育むレク活動の展開法:楽しむ力を高める目標設定の方法/レク活動を対象者に合わせるアレンジ 課題レポートを実施②	演習形式の講義	発言をする等、積極的にかかわることができる。	予習:テキストの該当範囲 P70-77 を理解する。 復習:講義のまとめ	180	発信力
14週 /	レク支援の方法:対象者の相互作用を促進するコミュニケーション技術の活用方法/成功体験を支え合う対象者のかかわり/コミュニケーション技術の活用の原則 小テスト④	演習形式の講義	小テストが 60%以上できる。	予習:テキストの該当範囲 P78-82 を理解する。 復習:講義のまとめ	180	主体性
15週 /	まとめ:レク・インストラクターの基礎理解について総括しまとめを行う。 まとめレポート作成	講義と 質疑応答	ポイントが整理されわかりやすいレポート作成ができる。	予習:講義ノートをよく読みレク・インストラクターの基礎を理解する。	180	主体性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力